



10月1日は「浄化槽の日」

浄化槽とは

○浄化槽の役割

浄化槽は、各家庭から排出されるし尿や生活雑排水（台所や洗濯、風呂などの排水）を浄化しきれいにすることで、水路や河川、海など私たちの身近な水環境保全に役立っています。

○浄化槽の仕組み

浄化槽では、様々な種類の微生物が働いています。微生物たちは排水に含まれる汚れを分解することで水をきれいにしてくれます。浄化槽の機能を保つためには適正な維持管理を行い微生物が働きやすい環境を整えることが重要です。



水洗化について考える

今や、都会に住む人にとって水洗トイレは住むための最低条件です。環境保護も大切ですが、お盆で帰省されるお孫さん、Uターンを考えられている若者夫婦、子育て世帯に向けて浄化槽（下水道）への転換を考えてみてはどうでしょうか？

浄化槽設置助成制度

南関町では浄化槽本体と流入・流出柵の設置を町で行い、工事に係る申請者分担金は13万円（11人槽以上の分担金は異なります）となります。詳しくは下記の問い合わせ先にご確認ください。

問 建設課 水道係 ☎57-8592



朝ごはんで集中力アップ 中学校でとっば食堂を開店

一般社団法人なんかん未来創造とっば隊（日高香奈恵理事長）は「とっば食堂」を9月4日、中学校で開店しました。

とっば食堂は「朝ごはんをしっかりと食べて、元気に学校生活を送ってほしい」という気持ちで企画し、今年の2月から活動を始め、毎月第1金曜日は「とっば食堂の日」として午前7時30分から食堂を開いています。

代表の山口明美さん（四ツ原）は「朝ごはんを食べると集中力がついて学力向上にもつながる。月に1回はこの活動を続けていきたい」と話し、食堂を利用した生徒は「卵焼きがおいしかった。おいしい朝ごはんを食べたから、今日も一日頑張れそう」と笑顔で話しました。



交通安全教室を開催 南関第三小学校

南関第三小学校（森山資典校長）は9月10日、正しい交通ルールとマナーを身に付け、交通事故を防止することを目的として、交通安全教室を同校運動場で開催しました。

この日は交通安全協会、町交通指導隊などが参加し、児童たちと命を守る道路の歩き方や自転車の乗り方などを教えました。

教室を終えた永清花さん（相谷）は「自転車で遊びに行くときは今日の約束を守ります」と感想を述べました。

郵便局でマイナンバーカード申請 九州初の協定

町と日本郵便は9月18日、「マイナポータル用端末の設置及び管理に関する協定」を結びました。

この協定は、マイナンバーカードの取得向上を目指し、町内全4つの郵便局に「マイナポータル用端末」を設置。運転免許証などの顔写真がある身分証明書と個人番号があれば、オンラインでカードの申請ができるものです。

町役場で行われた締結式では、佐藤町長が「町内の郵便局の力をお借りし、まずは50パーセントの取得率を目指したい」と抱負を述べました。

また、この日は住民の安心・安全暮らしや地域活性化を目指した包括的連携協定も締結しました。



▶ 町内の郵便局長と佐藤町長

フェイスシールドを寄贈 F-WAVE株式会社

F-WAVE株式会社熊本工場（戸田正明工場長）は8月21日、佐藤町長を訪問し南関中学校生徒や町関係職員のために飛沫を防ぐフェイスシールド470枚を寄贈しました。

フェイスシールドは透明で口元が隠れないため、表情が見えることや熱がこもらないことが特徴で自社の技術を生かし4月から製造を始めました。

戸田工場長は「コロナウイルス感染拡大の終息が見えない中で、少しでも手助けしたいと思った。感染予防の一つとしてフェイスシールドを活用してほしい」と話し、佐藤町長は「住民と対応する状況に応じてマスクと併用して感染を予防し、住民サービスに努めたい」とお礼を述べました。



▶ フェイスシールドを手渡す戸田工場長（左）